

健康経営の取り組み

当財団は、職員の健康が重要な経営資源であると捉えるとともに組織の活性化に大きく寄与するとの考えのもと、健康経営プロジェクトを立ち上げ、健康経営推進に取り組むことといたしました。

健康経営宣言

公益財団法人ちば県民保健予防財団は「感染症や生活習慣病等の予防に関する支援並びに健康の保持増進へ向けた調査研究及び普及啓発を行い、公衆衛生と福祉の向上に寄与する事」を目的に、全ての人々の健康増進と健康寿命の延伸を目指し、健診・検査・調査研究・普及啓発事業を実践しています。

当財団が確かな精度を維持しつつ、これからも更に社会的に評価される組織であり続けるためには、職員一人ひとりが身体的並びに精神的な健康度を更に高め、明るく活力ある職場を確立し、予防医療を受診者様に提供していかなければなりません。

私たちは、職員の健康が重要な経営資源であると捉えるとともに組織の活性化に大きく寄与するとの考えのもと、職員の心身における健康の保持増進に積極的に取り組み、生き生きと働きやすい職場づくりを推進していく事を宣言します。

公益財団法人ちば県民保健予防財団

理事長 藤澤 武彦

推進の目的

私たちは、日本一の健診機関を目指し独自性の高い健診・検査・診療に関する情報を多く発信して参りました。これまでの財団の大きな特長を堅持しつつ、これからも健診機関として更に社会的に評価される組織であり続けるためには、職員一人ひとりが身体的並びに精神的な健康度を更に高め、明るく活力ある職場を確立し、予防医療を受診者様に提供できる体制の構築が不可欠です。

当財団は第4期5か年基本計画において、「やりがいあふれる職場づくり」を策定し、職員がいきいきとした誰もが働きやすい職場環境を整備することで、さらなる組織の活性化をめざしていきます。

推進体制

理事長を最高責任者とし、各部からの代表者、衛生管理者、健康管理担当（保健師）、産業医をメンバーとする健康経営PTを立ち上げ、活動立案等をすることを目的とし活動をはじめました。

推進体制

